

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2019年10月号

消費税改正と請求書記載

導入から30年、税率2ケタに

1989年に消費税が導入されてから30年、10月1日より税率が10%になりました。10月1日の午前にお買い物をしてみると、「すいません、レジの不具合でカード払いできないのです」「申し訳ございませんが軽減税率の記載が漏れていたの領収書を再発行させてください」など、トラブルが発生していました。やたらと複雑な仕組みになってしまったので、やはりというべきなのかもしれません。

請求書の記載も変わる

さて、今回の消費税改正にあたり、経理処理上は10%、8%（旧税率）、8%（軽減税率）の3つに区分しなければいけないことは既報のとおりですが、請求書の記載も変わることには要注意です。

現行の請求書では、発行者の氏名・名称、取引年月日、取引内容、取引金額、宛先の氏名・名称が記載項目とされていますが、これらは通常記載されていますから問題となることは少ないでしょう。2019年10月以降、請求書に記載が必要な項目として追加されたのは、①軽減税率対象品目である旨と②税率区分ごとの合計請求金額（税込）です。

右の請求書が記載要件を満たした請求書の例となります。例では※印にて軽減税率対象である旨を示していますが、「軽」や「◎」などで示すのでもかまいません。

また、税率区分ごとの請求合計金額（税込）が必要となってきます。ただし、10%対象の請求しかない会社も多いと思います。その場合には、10%対象の合計請求金額のみを記載し、8%対象が出てきたときに別の請求書を発行する対応でも可能です。

請求書（10月分）		
（株）●●御中		
2019年10月31日		
5日	食料品※	3,240円
5日	配送料	660円
15日	文房具	1,650円
	合計	5,550円
	10%対象	2,310円
	8%対象	3,240円
※は軽減税率対象品目		

記載されていないときは・・・??

しかし、今回の消費税改正の内容を十分に理解している人の割合は低いですし、請求書の発行先がキチンと書いてくれない場合に困ってしまいます。たとえば、8%と10%が区分されていない場合もあるでしょう。

そのような場合、再交付を要求せずとも、記載漏れを追記することが認められています。自分で不足分を書き足した請求書を保存しておけば、正規の請求書を保存しているとみなされます。もちろん、ウソを書くのはダメです。あくまで、事実に基づき必要事項を補充できる、ということです。

請求書には次の段階がある

2019年10月以降は①軽減税率対象品目である旨と②税率区分ごとの合計請求金額が追加記載事項となるのですが、4年後の2023年10月からは、さらに③税率区分ごとの消費税額等と④登録番号が追加で必要になります。

右の請求書が2023年10月以降の例となります。税率区分ごとの合計請求金額は税抜または税込のいずれかになりますが、税率区分ごとの消費税額を記載します。

登録番号は、税務署に登録した課税事業者が記載します。法人であれば、法人番号13ケタの頭に「T」を付けるだけです。課税事業者は、登録申請が始まったら早めに番号を取得し記載すると安心かもしれません。

請求書 (10月分)			
(株)●●御中			
2023年10月31日			
5日	食料品※	3,240円	
5日	配送料	660円	
15日	文房具	1,650円	
合計		5,550円	
10%対象	2,310円	消費税	210円
8%対象	3,240円	消費税	240円
※は軽減税率対象品目			
(株)▲▲			
登録番号 T1234567890123			

ポイント還元はまったく別の話

改正消費税とともに話題となっているのがポイント還元制度です。増税負担を緩和するため、クレジットカードや電子マネーで決済すると還元が受けられるものですが、すべてのキャッシュレス決済が対象ではありません。

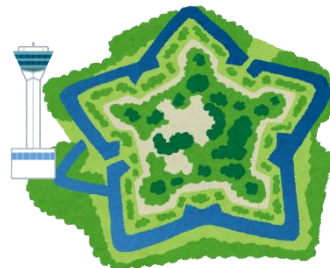
2020年6月までの期間限定、対象店舗での決済が必要ですし、カードブランドや電子マネーの種類によって還元方法が異なります。その場でポイント分が差し引かれるもの、ポイントが後日付与されるもの、同じ交通系電子マネーであっても還元されないもの、還元上限があるもの…各社バラバラです。「多額の還元を狙ったのに全然もらえなかった！」とならないように気を付けましょう。

(文章 石島慎二郎)

五稜郭

(文章：内藤久子)

北海道函館市にある「五稜郭」へ行ってまいりました。
二度目の五稜郭なのですが、前は「五稜郭タワー」から
「五稜郭」を見た記憶はあるのですが、「五稜郭」に足を踏
み入れた記憶が全くなく、五稜郭の内部はおそらく初めて。



五稜郭



「日本100名城」の1つに選ばれている
五稜郭。

日本初のヨーロッパ築城方式の稜堡(りょうほ＝星形の尖った部分)式城郭、星形要塞で国の特別史跡に指定されています。
星形の一か所だけに三角形の出っ張りがあることに気づかれましたか？

これ「半月堡」と呼ばれるもので、当初の設計では5か所全てに作る予定だったのに、財政難で一か所しか出来なかったようです。

日本にはもう一つ星形の城が残ります。長野県佐久市に残る龍岡城です。余談ですが。



五稜郭タワー

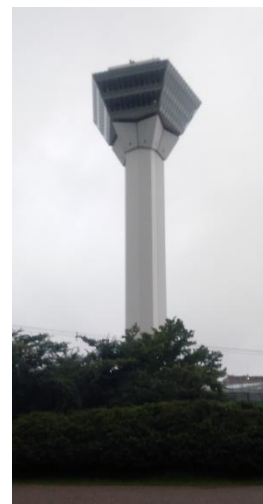
五稜郭の隣にある「五稜郭タワー」。

展望1階の高さ86m、展望2階の高さ90m。

五稜郭内に入ってしまうと、星形なんて見えません。

この展望台に上がらないと、あの星形を見る事が出来ません。

エレベーターに乗り込み、扉が閉まると、暗くなり、同時にエレベーター内に絵が浮かんで来て、キョロキョロしていると直ぐに到着です。今回も運よく、展望台からは星形の五稜郭がきれいに見えました。



函館奉行所

五稜郭にあった函館奉行所。建物は函館戦争終結の2年後、完成からわずか7年で解体。後々、復元を目指しますが、平面図は收藏されていたものの建物の形が分からず。ところが、裏に「二条御城」と書かれた古写真が、パリの骨董店で見つかり、慶応4年頃に撮影された函館奉行所の写真と判明して、表側は再現が可能に。

しかし、裏側の写真はなく、古写真でわかった表部分だけの復元になっているそうです。

奉行所の屋根の上にある「太鼓櫓」と呼ばれる見張所は、敵からも狙いやすく、標的にされ砲弾を浴びる羽目になってしまったそうです。



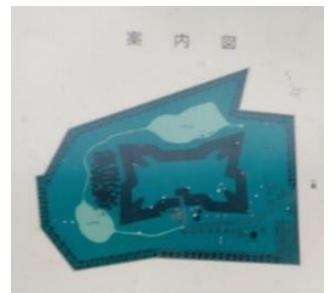
四稜郭



五稜郭から3.3キロ位離れたところにある「四稜郭」にも行ってみました。

函館戦争の際に、五稜郭を守る目的で造られ、五稜郭の50分の1の広さだそうです。蝶が羽を広げたような形で、五稜郭は5個の稜堡（尖った部分）がありますが、こちらは4個です。

その4隅には砲座が設置されていますが、建物は建てられておらず、数日で完成させ、実戦で使用された場所ですが、四稜郭は、1日で破られてしまったそうです。



「四稜郭」の他に、場所がはっきりしていない「三稜郭」、函館のさらに北にある七飯町の山奥に「七稜郭」もあったようです。

最後に

五稜郭の内部は歴史を感じることができて素敵ですが、五稜郭タワーから見る星形五稜郭はやはり格別です。函館にお出かけの際は、ぜひ、その眺めを堪能してください。おすすめですよ。